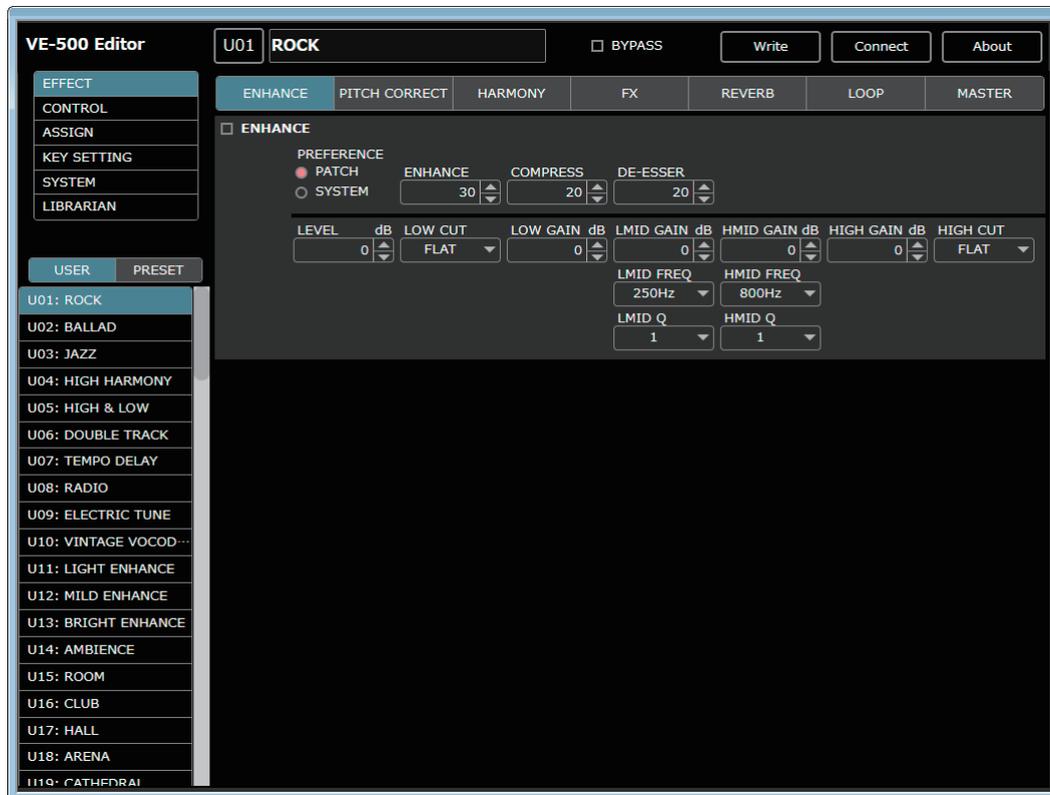


VOCAL PERFORMER VE-500

VE-500 Editor 取扱説明書

**概要**

本ソフトウェアは、以下の機能があります。

- VE-500 本体のパッチ、SYSTEM パラメーターの編集
- VE-500 本体のパッチの管理 (LIBRARIAN)
- VE-500 本体の全パッチをバックアップ (LIBRARIAN IMPORT/EXPORT)

必要機器

市販のマイクロ USB ケーブル
VE-500

注意事項

- VE-500 Editor が VE-500 本体と通信しているときは、VE-500 を操作しないでください。
- 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

VE-500 Editor をインストールする

Windows をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。
2. 「VE-500 Editor Installer.exe」をダブルクリックします。
インストールが始まります。
3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
4. 「VE-500 Editor セットアップウィザードの完了」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

Mac をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。
2. 「VE-500 Editor Installer.pkg」をダブルクリックします。
インストールが始まります。
3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
4. 「インストールが完了しました。ソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

VE-500 Editor をアンインストールする

Windows をお使いの場合

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
コントロール パネルが表示されます。
2. [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] をクリックします。
3. [VE-500 Editor] をダブルクリックします。
アンインストールが始まります。
4. アンインストール画面の指示に従って、アンインストールを進めます。
5. 「VE-500 Editor はご使用のコンピューターから正常に削除されました。」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

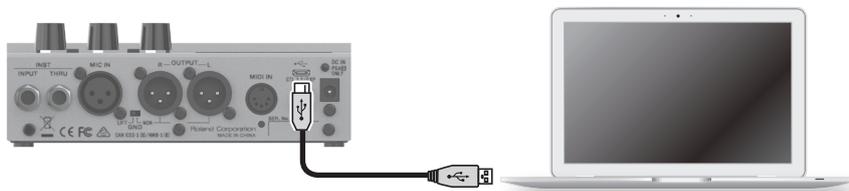
Mac をお使いの場合

1. Finder (ファインダー) メニューの [移動] をクリックし、[アプリケーション] をクリックします。
2. [BOSS] フォルダー内にある [VE-500 Editor] ファイルをゴミ箱へドラッグ&ドロップします。

初期設定する

パソコンを接続する

市販のマイクロ USB ケーブルを使って、パソコンの USB 端子と VE-500 の MICRO USB 端子を接続します。



注意事項

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ポスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーのインストールをしてください。

詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

➔ <https://www.boss.info/jp/support/>

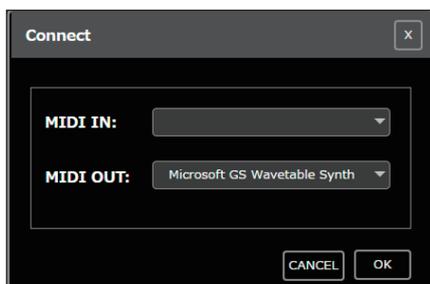
ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

VE-500 Editor で設定する

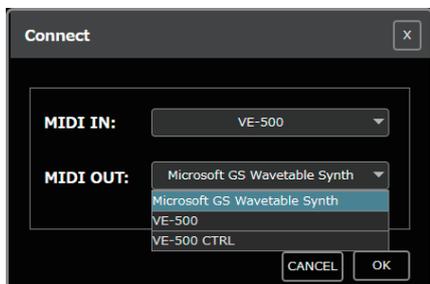
1. VE-500 Editor アイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。

ソフトウェアの起動が完了するまでしばらくお待ちください。

[Connect] ダイアログが表示されます。



2. MIDI IN と OUT に「VE-500」を選択します。



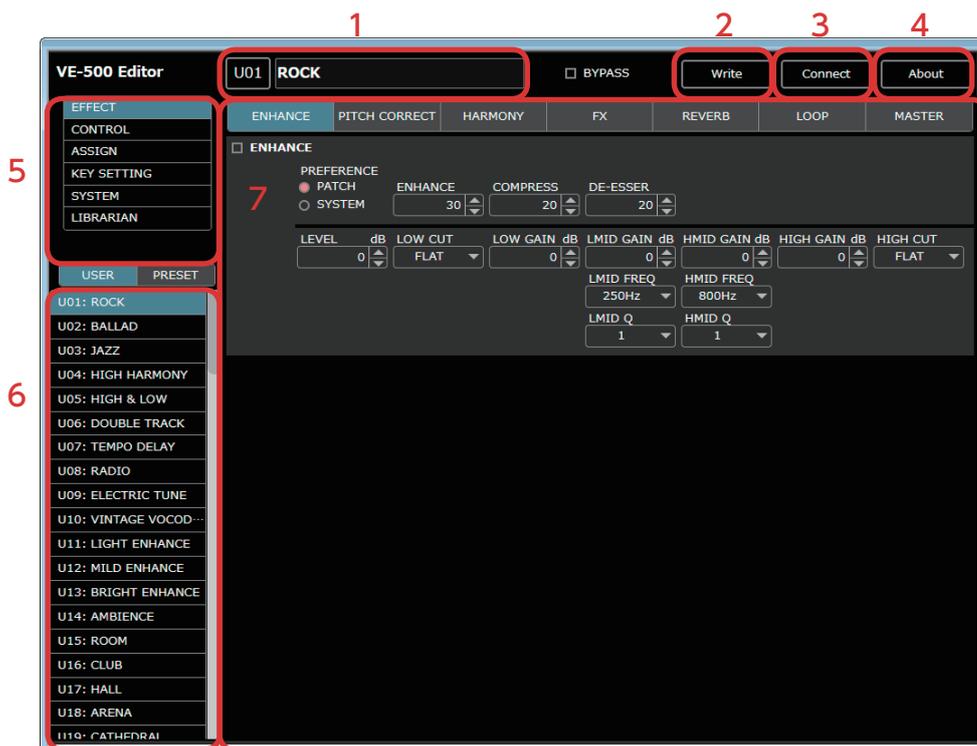
3. [OK] ボタンをクリックします。

正常に接続されていると、自動的に VE-500 と通信を開始します。

ここで選択された接続設定は、パソコンに自動的に保存されます。以後、ソフトウェアを起動すると自動的に接続されます。

接続をやりなおす場合は、**[Connect]** ボタン (P.4) をクリックしてください。**[Connect]** ダイアログが表示されます。

各部の名称



1. パッチ・インフォメーション・エリア

2. [Write] ボタン

編集したパッチ設定を VE-500 本体へ転送、書き込みします。

3. [Connect] ボタン

4. [About] ボタン

5. 機能選択エリア

6. パッチ選択エリア

7. パラメーター編集エリア

パラメーターを変更する

パッチ・パラメーターを変更する

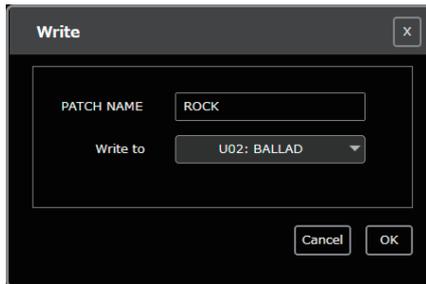
1. 機能選択エリア (5) で、[EFFECT]、[CONTROL]、[ASSIGN]、または [KEY SETTING] をクリックします。
2. パッチ選択エリア (6) で選択したいパッチを選びます。
3. パラメーター編集エリア (7) で、パラメーターを編集します。

パッチ・パラメーターを VE-500 へ書き出す

VE-500 Editor で編集したパラメーターを、VE-500 本体へ反映させます。

1. [WRITE] (2) をクリックします。

[WRITE] ダイアログが表示されます。



2. [PATCH NAME] 欄でパッチ名を変更します。
3. [Write to] 欄で書き込み先のパッチを選択します。
4. [OK] をクリックします。

選択された書き込み先に、変更した内容が書き込まれます。

※ [WRITE] を実行せずにパッチを変更したりライブラリアン (P.6) を操作したりすると、変えた設定は破棄されますのでご注意ください。

SYSTEM パラメーターを変更する

1. 機能選択エリア (5) で、変更したい機能を選択します。
2. パラメーター編集エリア (7) で、パラメーターを変更します。

変更した設定が、自動的に VE-500 本体に書き出されます。

SYSTEM パラメーターをファイルへ保存する

1. 機能選択エリア (5) で [SYSTEM] をクリックします。
2. [Backup] をクリックします。
3. 保存先を選択、設定します。
4. [保存] をクリックします。

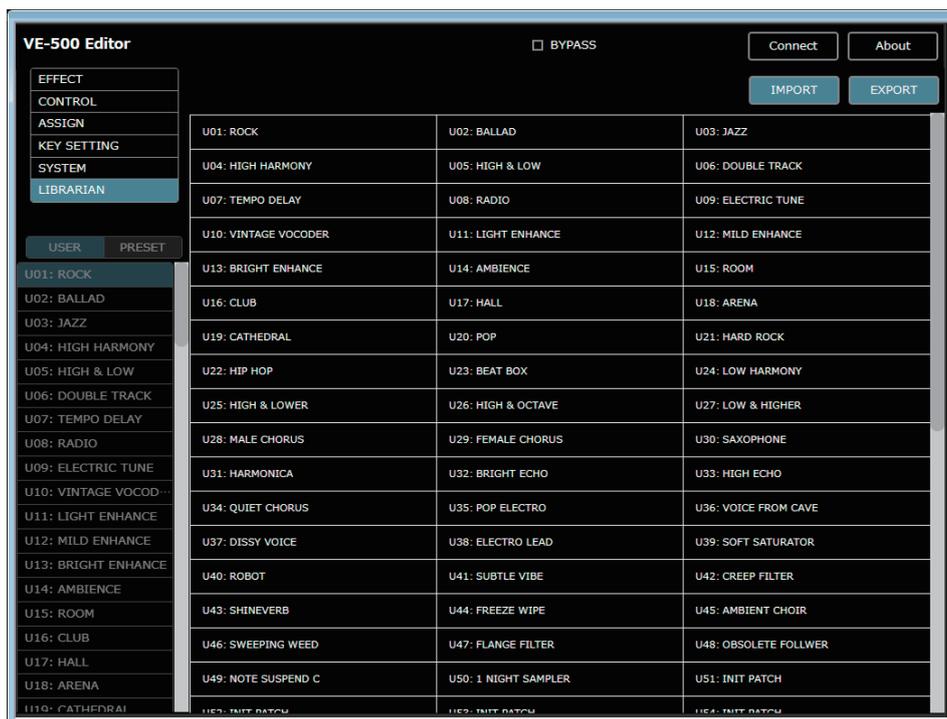
ファイルに保存した SYSTEM パラメーターを VE-500 本体へ転送する

1. 機能選択エリア (5) で [SYSTEM] をクリックします。
2. [Restore] をクリックします。
3. 保存したファイルを選択します。
4. [開く] をクリックします。
5. [Restore] ダイアログが表示されます。
6. [OK] をクリックします。

ファイルに保存された SYSTEM パラメーターを VE-500 本体へ転送します。

ライブラリアンについて

[LIBRARIAN] をクリックすると、ライブラリアン画面になります。
ライブラリアンではパッチの管理をすることができます。



パッチの並びを変更する

1. パッチを移動したい先にドラッグ&ドロップします。

選択したパッチとドロップ先のパッチのパッチ番号が入れ替わります。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。

複数のパッチを選択した場合、パッチ番号順に処理されます。

例：U01、U05、U10 を選択してドラッグし、U17 へドロップした場合

以下のパッチが入れ替わります。

- U01 と U17
- U05 と U18
- U10 と U19

パッチの名前を変更する

1. パッチをダブルクリックし、パッチ名を編集します。

パッチ名を編集すると、VE-500 本体にパッチ名が転送されます。

パッチをコピーする

1. パッチを右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[COPY] をクリックします。

パッチ・パラメーターが専用のクリップボードに保存されます。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。

2. コピー先で、右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[PASTE] をクリックします。

クリップボードの内容が、VE-500 本体へ上書き設定されます。

複数のパッチを選択した場合、パッチ番号順に処理されます。

例：U01、U05、U10 を選択してコピーし、U17 へペーストした場合

パッチが以下のようにコピーされます。

- U01 を U17 へ
- U05 を U18 へ
- U10 を U19 へ

選択したパッチをファイルに保存する

1. 保存したいパッチを選択し、右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[EXPORT] をクリックします。
[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。
2. 保存先を選択、設定します。
3. [保存] をクリックします。

VE-500 本体と通信して、選択されたパッチを含んだファイルを作成します。
複数のパッチを選択した場合、パッチ番号順に処理されます。

Mac では

[shift] キーや [option] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。
また、[control] キーを押しながらクリックすることで、コンテキスト・メニューを表示させることができます。

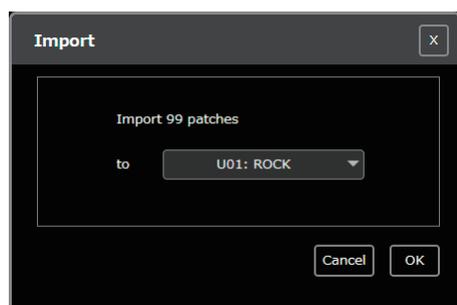
VE-500 本体のパッチをすべて保存する (EXPORT)

1. [EXPORT] をクリックします。
2. 保存先を選択して設定します。
3. [保存] をクリックします。

VE-500 本体と通信して、すべてのパッチをファイルへ保存します。

ファイルに保存したパッチを VE-500 本体へ転送する (IMPORT)

1. [IMPORT] をクリックします。
2. パッチを保存したファイルを選択します。
3. [開く] をクリックします。
[Import] ダイアログが表示されます。
4. [to] 欄で転送先の先頭パッチを選択します。



5. [OK] をクリックします。

選択したパッチから順番に、ファイルに保存された設定を VE-500 本体へ転送します。